

令和 7 年 9 月 9 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名・・・医療法人 仁風会 雲陽の里
サービス種類・・・認知症対応型共同生活介護事業所
会議開催日・・・令和 7 年 9 月 9 日
開催場所・・・雲陽の里
出席者

事業所	1 人	利用者	人
利用者家族		地域代表者	4 人
松江市職員		包括支援センター	1 人
知見を有する者		その他 ()	人

活動状況報告

- 1) 入所状況について
- ・現在入所者 9 名、介護保険更新結果で 1 名は現状維持、もう少し様子をみて変化のあるところ
で変更申請を考える。要介護 3→2 に軽くなった方については現場の印象とずれを感じている。
ご家族の了解も得たので変更申請の予定。
- 2) 生活状況・活動報告
- ◎7 月法人内研修「虐待防止①」全職員参加
 - ◎8 月法人研修「災害発生時の初期対応」「AED の使用について」職員参加
 - ◎9 月法人研修「行動制限最小化」参加予定
- 3) ・インシデント及び事故報告（12 件）内容と対策について報告。
- 車椅子使用で尻もち等の転倒が多い方はブレーキ操作が出来ない事が大きな要因でもあり
職員の見守り強化以外に出来る事がないか検討中

意見交換

- 職) 業務の効率化にも関係するが、介護記録用のケアアプリ利用を勧める業者があり検討を始めて
いる。他の施設で活用している例はあるか。
- 包) あると思う、ケアマネさんがタブレットを活用している場面はよく見かける。ケア会議等でも
持参して記録の確認やその場での入力等しているようだ。
- 地) 病院の看護師さんも使っているのを見かける。
- 職) 今いる職員の多くはいつまでも居ない年令であり、今後若い職員に託していくためにもタブレ
ットやアプリの活用は強く希望しているが、仮に導入出来てもすぐに経費に見合う運用ができ
る体制ではない事も感じている。
- 包) 今の職員の年齢層は？
- 職) 60 代以上が半数 50 代 1 名 40 代 2 名 20 代 1 名。若い職員には長く勤めてもらいたいの、自

分たちが退職するまでに何とか導入してもらえるように働きかけたい。

地) そういう物以外で、介護現場でロボットとまではいかないが動物型で反応する物とか、ただい
るだけで癒されるような物の話を聴く事がある。

職) テレビ等で紹介されるのを見た事がある。いてくれるといいなと思うがやはり導入に見合う「働
き」を納得してもらえるだけの説明が出来るのかが問題だと思っている。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価をうけることができたか	
☐ 要望・助言等を受ける機会を設けたか	